

講義コード	1136	科目区分	専門教育科目(社会福祉士関連科目)
(フリガナ)	シャカイフクシエンジョギジュツエンシュウサン	(フリガナ)	ウメキ モトシ
授業科目名	社会福祉援助技術演習Ⅲ	担当教員名	梅木 幹司
英文授業科目名	Seminar in social work practice Ⅲ		
基準年次(開講期)	4年次(後期)	履修形態	選択(社会福祉士受験資格取得必修科目)
曜日/時限/講義室	金曜日/3時限		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	演習中心
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	実習体験、グループディスカッション、事例研究、実践的理解、情報共有		
授業概要・目的	社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ、社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ・Ⅱ、社会福祉援助技術現場実習Ⅰ・Ⅱを踏まえ、これまでの学習と実習における体験から実践的な援助方法について学習する。社会福祉援助技術に関するこれまでの学習を踏まえ、実際に実習で体験したことについて考察し、グループディスカッションや個別指導によって実践的な理解を深める。本演習は、演習科目の集大成として実践場面で通用する力を養う。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の体験を言語化することができる。</li> <li>・事例研究を通じて実践的理解を深める。</li> <li>・直接援助技術、間接援助技術、関連援助技術について相互的に理解し、考察することができる。</li> </ul>		
授業計画			
第1回	オリエンテーション 社会福祉援助技術演習Ⅲの位置づけと目的、演習の進め方についての説明		
第2回	実習レポート① 実習における体験に関するレポート(グループ指導)		
第3回	実習レポート② 実習における体験に関するレポート(個別指導)		
第4回	実習レポート③ 実習における体験に関するレポート(個別指導)		
第5回	実習体験の共有① 実習における各自の体験の共有(グループ指導)		
第6回	実習体験の共有② 実習における各自の体験の共有(グループ指導)		
第7回	実習体験と相談援助① 実習の体験と相談援助(グループ指導)		
第8回	実習体験と相談援助② 実習の体験と相談援助(グループ指導)		
第9回	実習体験と相談援助③ 実習の体験と相談援助(個別指導)		
第10回	実習体験と相談援助④ 実習の体験と相談援助(個別指導)		
第11回	実習体験と事例研究① 実習における各自の体験と事例(グループ指導)		
第12回	実習体験と事例研究② 実習における各自の体験と事例(グループ指導)		
第13回	実習体験と事例研究③ 実習における各自の体験と事例(個別指導)		
第14回	実習体験と事例研究④ 実習における各自の体験と事例(個別指導)		
第15回	まとめ		
教科書・参考書等	教科書は使用しない。		
授業で使用する 機器等	毎回講義資料、リアクションペーパーを配付。実習での記録物を持参すること。		
予習・復習への アドバイス	実習での体験を言語化できるように事前に準備すること。		
履修上の注意・ 受講条件等	社会福祉士受験資格取得を希望する人は必ず履修してください。		
成績評価の基準等	欠席は認めません。(やむを得ず欠席した場合は、補講にて対応) 授業への参加態度20%、毎回のリアクションペーパー20%、レポート課題20%、グループワーク等の取り組み姿勢20% 最終課題20%		
メッセージ	社会福祉援助技術演習の集大成のため、各自がソーシャルワーカーであることを意識した上での参画を期待します。		
オフィス・アワー	発表掲示後は、気軽に訪問してください。		
その他			